

基山町

議会だより

平成29年 第2回定例会

6月議会

No.62

きやま

検索

【特集】

どう対応できるのか

求められる

子育て支援

～子育て交流広場の様子～

(基山町保健センター2階)

平成29年7月31日発行

特集

どう対応できるのか 求められる子育て支援

お母さんに抱えられ、一緒に体操を楽しんでいる子どもたち。基山町保健センター2階のプレイルームで、10時から始まる親子の遊びの会（びよびよ広場）の様子を見てきました。

ここに参加しているお母さんたちは、赤ちゃんをだっこしたままの体操をしたり、顔を見ながらおなかに乗せた赤ちゃんを高い高いと、あやしたりしていました。また、普段使わない筋肉に刺激を与え、体を動かすことが、いい意味でストレス解消になっているようでした。

親子の遊びの会の終了後、前回（議会日よりNo.56特集ページに内容掲載）同様に、参加中の保護者の方の声を聞いてきました。



駐車場の隣の車とのスペースが狭く、子どもをベビーカーに乗せる時に大変です。少し広くできないでしょうか。



中央公園ほどの大きさや、多くの遊具がなくていいので、ベビーカーを押しやすい近さに公園がほしいです。

このような子育て中の保護者からの悩みにどこまで寄り添えるのか、早急に取り組む必要を感じました。

「子どもが体調を崩して少し熱っぽいことがあるが、仕事していて急に休めないし、保育園に預ける時の規則でお願いできないことがある。近くに頼める家族もないし困っています。」

*育児サポートセンターに相談に
来られた保護者の方のこんな声を聞きました。



前回保護者の方に頂いたご意見に、現在どう対応しているのか調査しました。

- **こっこ広場が、2週間に1回だけど、1週間に1回とかもっとあったらいいのに。**
⇒現状では、ぴよぴよ広場（1歳児）・ほっとママ（0歳児）など月2回開催されていて増やすことはむずかしい。
- **町の中心市街地にも、歩いていけるスペースがあったらいいのに。**
⇒まちなか公民館には、予約すれば利用できるスペースはある。
- **急な用事ができた時、短時間の預かり、1時間でも子どもを見てもらえる場所があれば。**
⇒育児サポートセンターでは、現在有料で3日前予約で対応している。
- **7月から冷房が入るようになっていますが、6月から湿度が高く不快に感じる日があります。この点の改善を。**
⇒子どもの様子を見て、プレイルームの冷房を入れてもらうなど対応している。
- **保健センターで子ども仕様のトイレがあったらと思うし、手洗いするところも1か所ではなく増やしてほしいです。**
⇒子ども仕様のトイレは1階女子トイレにあり、同じく多目的トイレには、子ども用いす・おむつ交換台も設置されている。

興味のある方はこちらへご連絡下さい。

連絡先：基山子育て交流広場 電話：92-6630



▲SGK交流プラザで竹トンボを製作中の様子

地域も子育て世代の
居場所づくりに
動き出しています。

さが地域ツズサポーターとして、基山町で活動している協力隊の方の参加もあり、アンパンマンやミッキーマウスの絵を書き、子どもと一緒に大人も楽しめました。イベント後に協力隊から、「子育てしやすい町をめざして場所はあるけれども、なじんでそこに行つてない感じで、お母さん達へのフォローが必要と感じている。また、このような取組は、同世代以外の方と気楽に話せる交流の場でもあるので、参加者が増えるよう声かけをしていく」という話が聞けました。

*5月7日に、SGKきやの里部会が親子で参加できる子どもの日イベントを企画開催しました。予想よりはやや少ない参加者でしたが、子ども達の喜ぶ姿に、メンバーの顔もほころびました。



旧ほっとステーション基山用地に合宿所建設

総務文教常任委員会

議案審議

佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び組合規約の変更

火葬場共同設置により、神埼市・吉野ヶ里町葬祭組合を佐賀県市町総合事務組合に加入させ、事務の共同処理に参加させるため。

一般会計補正予算

町長が利用する公用車の運転業務を嘱託職員から、委託へ変更。自動車運行管理業務委託料 **494万円**
 *月額54万9849円×9ヵ月分

問 当初予算では運転業務を嘱託職員の報酬170万円の計上から、なぜ補正額が約3倍も増額となる委託へ変更したのか。
答 嘱託職員を公募したが応募者がなく、検討し委託を選んだ。

問 予算が約3倍にもなることは問題である。

答 複数者による入札と、予算には、時間外勤務や休日勤務も考慮して計上しているが、極力減らす努力をする。予算執行にあたっては全員協議会等で事前に報告する。

旧ほっとステーション基山用地を購入して合宿所を建設。
 建設工事費 **9300万円**
 用地購入費 **1680万円**
 家屋購入費 **820万円**
 (含 附属施設購入費 **110万円**)

問 なぜこの場所に決定したのか。

答 地方創生拠点整備交付金事業の交付決定を受け、場所選考中に、旧ほっとステーション基山の事業者から廃業の話があり、町の建設場所選考と一致したため決定した。また、既存の建屋及び附属施設を利用することで建設費を低く抑えることができ、総合公園に隣接して各種調整が容易である一面もある。

問 当初予算では、合宿所の規模は1階建ての20〜30人規模であった。なぜ2階建てで48人規模になったのか。

答 各団体に聞き取りを行い、「もっと増やせないか」、「スポーツに限らず各種研修にも利用できないか」などの要望があり検討した結果、規模を拡大した。

問 町民への説明はするの
 か。

答 関係機関と調整、協議後、基本方針を策定し、説明会を開催したい。

第2回臨時会 **6月27日**
 財産(建物)の取得について
 取得額 **710万円**

合宿所の建設整備を行うことにつき、旧ほっとステーション基山用地の財産取得をするため。



▲合宿所として活用される旧ほっとステーション基山用地

所管事務調査

町民会館の外壁タイル剥離と図書館内の垂木落下の調査

町民会館南側の外壁タイルの剥離、北側の外壁タイルの不具合、ほか長年の雨垂れによる劣化も確認された。危険防止対策として一部簡易的補修は行ったが、今後の改修については、まちづくり課と財政課で検討し、取り組んでいくと説明を受けた。

図書館内で、平成29年2月21日早朝、職員が天井から落下した垂木1本を発見したが、事故当時の安全確認が十分されないまま開館した。施工業者によるすべての垂木の安全確認と、第三者機関による総点検を行ったと報告を受けたが、利用者に対しての緊急時の危機管理マニュアル作成などを委員会として要望した。



▲町民会館外壁タイル剥離

「健康な町基山」をブランド化！

厚生産業常任委員会

議案審議

一般会計補正予算

地域介護予防活動支援の取組は

地域介護予防活動支援業務委託料 140万円

問 「通いの場」の地区選定基準は何か。

答 高齢化率の高い地区から選定していく。

問 サポーター養成の取組の状況は。

答 現在、第2次養成講座を行い、本年度内には概ね想定している人数(36人)に達すると認識している。

見やすい子育て支援ガイドブックを

子育て家族セルフデザインプロジェクト業務委託料 180万円

問 業務委託料の詳細は。

答 子育て中の保護者とのワークショップなどを通じて、利用者の視点で知りたいたい情報を反映させたもので、現在のものを見やすくして、

カラーで見やすいガイドブックにしたい。

問 ガイドブックとSNS等による情報発信がリンクできないか。

答 今後リニューアルを含め、より使いやすい状態に更新していきたい。

「健康な町基山」を

アピール

健康ブランド化推進業務委託料 1250万円

問 スロージョギングとキツイモの関連性は。

答 「健康な町基山」としてのアピールが大前提にある。スロージョギングの運動効果とキツイモの摂取による健康増進効果について、治験による測定値改善の解析、検証を行う。

問 治験対象者をどのように選定するのか。

答 町民の方の協力を得て、健康診断の数値で判断し、各々40人を考えている。キツイモの摂取方法など詳細については検討している。

問 専門分野の違う事業の委託を一業者でやるのか。

答 本来はそれぞれの専門分野に委託したいと考えているが、それができるか今後研究していく。

駅前広場一部改修

工事請負費 減額 426万円

問 改修の目的及び場所は。

答 朝夕の混雑を緩和するため、時計台がある植栽を全面撤去し駐車場とする。

問 一部改修の工期は。

答 7月下旬から着手し、2週間程度で終える。

所管事務調査

(株)九電工及びサンポ一食品(株)の現地調査

九電工アカデミーでは、社員研修、技能訓練状況の説明を受けた。毎年400人の新入社員研修を6ヵ月間、上級資格者の研修など年間を通して実施されている。外国人の優秀な人材の受入れ状況や、休日の研修生の過ごし方など、意見交換も行った。

サンポー食品(株)では、会社の概要、企業コンセプト、経営姿勢、今後の取組等の説明を受けた。工場は、地域企業としての意識から町内の3工場のみで営業を行い、3年間で一人前になるよう人材育成を行っている。意見交換の際に、数多い商品が、町民の目により触れられるよう検討をお願いした。



▲一部改修される基山駅前広場



▲九電工 技能オリンピックに出場する社員の訓練風景

地方創生推進交付金事業（平成29年度第1回）

新規認定事業がスタート 基山町ブランド化推進事業 ～小さくてもキラリと光る町へ～

予算総額 67億3501万円

今回の補正予算では、地方創生拠点整備交付金が採択され、町内に今までなかった合宿所建設事業が、平成30年3月までに工事を終える計画で始まります。また、さが未来スイッチ交付金を活用した駅前にぎわいづくり事業で基山駅前広場の改修も行います。

補正内容

・ **コミュニティ助成事業補助金** **650万円**

3区（210万円）、8区（240万円）、15区（200万円）の助成で、各区自治会の備品購入。

・ **三国・丸林線道路改良設計業務委託料** **300万円**

白坂久保田2号線との交差点から高速道路下のボックス、踏切り、国道3号線の交差点までの道路改良。

・ **里山サカキプロジェクト業務委託料** **108万円**

基山産のサカキのブランド化に向けたデザイン、商標登録料等。

・ **中学校隣接家屋修繕補償費** **13万円**

野球部活動中にボールが飛び、屋根瓦が割れて雨漏りしたところの補償。

・ **防犯カメラ設置工事** **112万円**

旭町地下道に6基設置。危険な場所の認識から設置の申入れが交番から強くあり、必要な個所として優先した。



▲基山PAで販売中の基山産のサカキ

国民健康保険 特別会計 補正予算

6万円を追加

予算総額 23億9912万円

下水道 事業会計 補正予算

収入を70万円追加

収入総額 5億 504万円

支出を72万円追加

支出総額 3億8882万円

全議案 全会一致で可決・同意・承認した議案

	議案番号	議 案 名	
臨時 会	承認2	専決処分の承認を求めることについて（基山町税条例の一部を改正する条例）	
	承認3	専決処分の承認を求めることについて（基山町国民健康保険条例の一部を改正する条例）	
	承認4	専決処分の承認を求めることについて（平成28年度基山町一般会計補正予算（第7号））	
	議案13	平成29年度基山町一般会計補正予算（第1号）	
	2 回	議案18	財産（建物）の取得について
		議案19	平成29年度基山町一般会計補正予算（第3号）
第2 回定 例会	同意2	基山町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	
	同意3～13	基山町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	
	議案14	佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更について	
	議案15	平成29年度基山町一般会計補正予算（第2号）	
	議案16	平成29年度基山町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	
	議案17	平成29年度基山町下水道事業会計補正予算（第1号）	
	発議2	基山町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	

意見書等の結果

件 名	内 容	結 果
教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	子ども1人1人に向き合った教育を実現するため、教職員定数を拡充する計画的な定数改善と義務教育費国庫負担制度の国の負担割合を2分の1に復元することを要請する。	採択 (賛成多数)
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度の創設と、身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度を求める。	採択 (賛成多数)
九州電力玄海原子力発電所3、4号機の再稼動に反対する意見書	九州電力が国の基準に適合し、「地元同意」が得られとして再稼動することは許されない。九州電力玄海原発3、4号機の再稼動には絶対に反対である。	不採択 (賛成少数)
「共謀罪」と同趣旨の「テロ等組織犯罪準備罪」創設に反対する意見書	国民の人権を擁護し憲法の保障する思想、信条、表現の自由に十分配慮するとともに、広範な国民の懸念が拭えぬまま迅速な法制定を行わないよう強く要請する。	不採択 (賛成少数)

基山町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

塩井 彰弘（小倉） 任期：平成29年8月22日から平成32年8月21日まで

新しい農業委員会委員の任命に同意

任期：平成29年7月20日から平成32年7月19日まで

- ・木原 秀樹（宮浦） ・熊本 富雄（宮浦） ・坂本 勇一（宮浦） ・酒井 敏幸（小倉）
- ・大久保敏幸（小倉） ・簗原 茂行（長野） ・井上 忠雄（小倉） ・藤田 俊一（園部）
- ・大村 廣（園部） ・水田 久男（園部） ・茂木清三郎（けやき台）

敬称略

一般質問

12人が町政を問う

(傍聴者のべ111人)

一般質問とは、議員が町政について自由に質問をすることをいいます。質問する項目は事前に通告します。基山町の場合は、時間内であれば納得がいくまで何度も質問できる「一問一答方式」を採用しています。

本議会の様子はYouTube(ユーチューブ)で試験的に配信しています。視聴方法等は町議会ホームページをご覧ください。

町議会ホームページ <http://www.town.kiyama.lg.jp/site/gikai/>

傍聴記

土曜日に町議会の一般質問の傍聴に向かう。休日でもあり傍聴者も多いのではと期待をしていたが、十数人と意外であった。それでも平日開催時よりは多く、中には若年層(40歳代働き盛り)の方もチラホラと見受けられ、休日議会の成果が感じられる。

町の職員を始め、各議員の方々も日曜日くらいゆっくりしたいというのが人情であろう。休日議会に携わる方たちには、休日出勤に対する割増手当を支給してはどうかと思う。

質疑では一問一答方式で、資料も頂くので解りやすく、高齢化に伴う国保税の県単位化による引き上げや、介護保険制度の給付等、課題が多い中、各議員におかれましては、専門的な内容の調査や分析に大変な労力と時間を掛け、努力されている姿がうかがえました。

今後とも基山町の発展のために大いに活躍を期待しています。本日の休日議会大変お疲れ様でした。

11区 中嶋克彦

今まで町議会を傍聴するなど思いもしませんでした。理由は、特段、基山町の行政に対する不満もなく、町議会も議員活動の中の仕事であり、私たちが選んだ議員が行えばよいと思っていました。しかし、この度「町議会を傍聴せんね」と議員から声をかけられ基山の住人として、一度は町議会を見る必要があると考え傍聴席に座りました。複数議員の一般質問を傍聴しましたが財政、観光、健康福祉、教育等の視点で町政に対する質問、提案がなされ、町長をはじめ、執行部の方から回答として現状報告、今後の取組、または方向性を示されました。

今回傍聴をして町行政の動きを感じることができました。それは議員の質問に対し基山町が住みよい住環境づくりに向け、現在、そしてこれからどのような動きをしているかがわかり、もっと町政に関心を持ち注目していくことが必要であると感じました。

6区 大久保利治

2回目の傍聴であったが、昨年12月に傍聴した時より質疑応答のレベルが皆さん上がっているように感じました。議員の皆さんも良く勉強されて、質問されていることを感じ、頼もしくもありました。

ただ、議会では町長をリーダーとする町政をつかさどる執行部と町民の代弁者である町議会議員は対等の立場であることからすれば、もっと言及しても良いのではと思われるところもありました。

これからも傍聴席が満席になるように皆さんが研鑽され、基山町発展のために、頑張ってください。

14区 古川治久



▲休日議会の様子

問 アイが大きい基山町の実現は
答 着実に前進している

河野 保久 議員

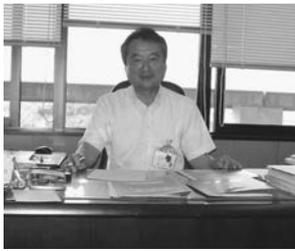


副町長に問う

問 就任して1年2カ月が経過しての所感は。

答 町長のマニフェストの政策実現のため、具体的な施策を進めた町長をサポートした。今後も本町発展のため、定住促進等の政策実現にむけて、補佐役として努力する。

問 この一年間で印象深かったことは何か。



▲執務中の酒井副町長

なっているか。
答 旭化成との連携は取っているが、具体的な町の関与は望んでいない。どこかの段階で次のステップへかじをきらねばとは思っている。



▲アトラスけやき台戸建住宅建設予定地

「まちづくり」のなか音楽を

問 「町歌」、各種イベントで使用する「行進曲（マーチ）」の作成は。

答 「きのくに音頭」「基山ブギ」等が作成され、定着している。今のところ新たに町歌を制定する予定はない。オリジナルのマーチは町のイメージアップには有効な取組とは思っている。

問 小中学校の卒業式に「仰げば尊し」の使用は。

答 卒業式の式歌は、学校側の判断に任せたい。

問 黒字でも国保税上げるのか
答 10%を予定、激変緩和考える

松石 信男 議員



問 来年度から国保の運営が基山町から佐賀県に移る結果、国保税は上がると思われるが、いくら上がるのか。

答 10%の引上げを予定している。

問 加入世帯の平成27年度の課税所得は平成20年度より20万円も減少している。42歳夫婦、子ども2人、所得233万円では国保税は45万円、これは所得の19・4%を占めるが町長の見解は。

答 大変な負担額と思っている。

問 国保税の負担が大きいため、引下げを求める町民の声がある。基山町の国保会計は黒字。国保



▲建替えられる基山保育園

基山保育園の一部民営化について

問 保育所建替えにあたって、公立1園、私立1園にするの考えがあるが、建替えに当たり保護者の疑問や不安に応えるべきでは。

答 基山町子ども・子育て会議の専門家、保育所運営委員会の意見を聞き、基山保育園保護者と町民との意見交換会を行い、意見を基本構想に反映させる。パブリックコメントを行っていくことも考えている。

問 保育サービスの充実には民営化が有効であるとされる理由は。

答 他の自治体では民営化し、民間の多様なサービスや民間の活力を活用している。

問 公立保育所の役割は何か。

答 質の高い保育の提供、サービスの水準、保育機能を高める。民間との連携も役割である。

問 地域包括支援センターを移転できないか
答 住民の利便性を考慮し検討する



松石 健児 議員

示方法も重要だと考える。新介護保険制度移行について

問 AED(自動体外式除細動器)の設置について

問 町内の設置箇所数は。
答 現在、学校を含む町の施設が9箇所、民間施設が29箇所の合計で38箇所。

問 今後の設置予定は。
答 憩いの家、図書館、葬祭公園を検討している。

問 AEDは外でも利用できるように施設の屋外設置が基本ではないか。
答 公共施設等を今後調査する。

問 ウォーキングマップ、子育て支援ガイドブック等への掲載も考慮しては。
答 考慮してみるが、施設等での分かりやすい掲

61件になる。

問 相談件数が年々減っている。対応に問題はな
答 虐待相談件数が増え、1件当たりの対応時間が増えたためと思われるが、センターの利便性が原因なのかも含めて再調査する。

問 地域包括ケアシステムの流れで、在宅介護、在宅医療・看護の対応と併せて、今後、行政が情報提供・自立支援等を一体的に管理していくには、センターをもっと身近な場所に転移するべきでは。
答 センター業務を行うには、独立した事務室及び相談室の確保などの条件があるが、住民の方の利便性を考慮し、検討する課題であると考えている。

問 平成30年4月以降は要支援1・2の方の約半数が受けていた通所介護と訪問介護が給付対象外になる。対応は順調に進んでいるか。
答 更新手続の際に、総合事業の中で同等のサービスを利用するか、緩和されたサービスを利用するかを来年3月までに選択することになる。現在、7名の方が更新手続をされ、順調に移行が進んでいる。

問 地域包括支援センター(以下、センター)の近年の相談件数は。
答 平成26年度が873件、27年度が748件、28年度が6

▲基山小学校でのAED講習会風景



▲基山小学校でのAED講習会風景

問 これで良いのか 観光振興
答 基肆城の環境整備と民間支援に取り組み



末次 明 議員

問 町外からの来訪者も増えているが、町長がめざしている観光コンセプトは何か。
答 「おもてなしの心」。町民にも浸透するように勉強会等を開催している。沢山の人が集う「出会い」のまちをめざす。

問 町が寺社、民間企業の観光事業に支援する場合、必要な要件はあるか。
答 今年度から施行している「基山町産業の振興に寄与する団体等に対する補助金」の場合、新規性、他へ波及効果が高いと認められる事業等に補助金を出している。

問 観光協会の主な財源は町からの活動費補助金だが、現状の補助金額や商工会に依存した体勢では不十分ではないか。
答 地域おこし協力隊の職員を採用し、観光協会の業務を主としてやっていただく。

問 続日本100名城と
答 基肆城の整備を急げ

なった基肆城。まず、水門周辺の駐車場やトイレは早急に整備すべき。町として取り組んでいること、国の特別史跡としてできることは何か。
答 昨年より策定中の基肆城跡保存整備基本計画に基づき環境整備事業を検討している。内容は基肆城跡への誘導、駐車場やトイレの設置、史跡内においては見学コースの新設、見学者が分かりやすく城内を廻り、各主要遺構が見やすく内容を理解しやすくすること。

問 道路の安全対策や環境美化への対応は十分か。
答 国県は勿論、警察とも連携をとって安全対策向上のために取り組む。道路の環境美化はアダプトプログラムの取組など、町民の協力を得て活動を紹介し広報していく。

町内道路は基山の顔だ！

問 佐賀県の東の玄関口として町内道路をどう認識するか。
答 計画的に幹線道路の整備を行い国道や県道と接続し利便性を活かしたものとなっている。今後も基山駅前広場の整備など町の発展につながる道路計画を行っていく。

問 道路の安全対策や環境美化への対応は十分か。
答 国県は勿論、警察とも連携をとって安全対策向上のために取り組む。道路の環境美化はアダプトプログラムの取組など、町民の協力を得て活動を紹介し広報していく。



▲町並みも魅力あるスポットに

問 亀の甲ため池の安全管理は

答 防災パトロールの重点地区である



鳥飼 勝美 議員

答 町としても、今後の亀の甲ため池の管理、運営等について、水利組合と十分協議していく。

行政改革の推進状況は

問 第1区の重要な農業用ため池である亀の甲ため池は、昭和28年7月の豪雨により堤防が決壊し、甚大な被害が生じた。復旧後60年以上経過した現在、老朽化が進行している。町としての安全管理の現状は。

答 亀の甲ため池の土地の所有者は5名の方で、管理は、亀の甲水利組合となっている。平成17年に町の補助事業で一部補強工事を行った。築造年代が古く、今後は、町としても適正な管理と安全性を保つていく必要があると認識している。

問 今後、水利組合員の高齢化と、利水面積の縮小により組合員の減少が生じていき、水利組合自体の存続が課題となるが。

営計画の公表はなぜしないのか。

答 今後検討する。

ふるさと応援寄附金の活用は

問 平成28年度までのふるさと応援寄附金はいくらか。

答 寄附金の総額は6億4126万円、その内返礼品代2億5228万円、事務経費6568万円、残り3億2330万円が実際の町で受け入れた寄附金。

問 このふるさと応援寄附金はどのように活用するのか。

答 新たな事業を実施する場合の財源としては、現在の基山町の基金（財政調整基金・公共施設整備基金等）に優先して、ふるさと応援寄附金を活用していく。また、活用した事業を町のホームページ等に掲載し公表する。



▲安全管理が求められる「亀の甲ため池」

問 育英資金貸付制度の見直しは

答 設置以降、見直しは行っていない



大久保由美子 議員

答 基金運用の慎重な調査検討が必要である。

基山（きざん）の遠足登山と管理について

問 交流人口増対策や基山へのリピーター獲得に向け、町外の学校関係へ特別史跡やガイドの紹介をして、遠足登山の普及としては。

答 教育長会にて、資料やガイドの案内など説明しているが、いくつかの課題もある。トイレの問題や草スキー用の貸出木製そりの台数、平日貸出の検討などが必要である。

問 毎年10人前後の利用申込なのか。また、高校生と大学生の内訳は。

答 昨年は少なかった。内訳は高校生1人、大学生9人。

問 特別の事情などにより、年度途中の貸付申込はできないのか。

答 3月末の申込対象の貸付基金であり、条例上、途中貸付はしていない。

問 入学資金などの負担から入学準備金貸付制度の導入はできないのか。

なにか。
答 回数については現状確認して検討する。火入れは山林火災や延焼を防ぐためである。

ピロリ菌検査について

問 昨年、県内中学3年生に任意のピロリ菌検査が始まったのはなぜか。

答 胃がん予防はピロリ菌除菌治療を、若年期に実施することが効果的で、胃がん発症のリスク軽減に繋がるため。

問 県負担は検査までか。

答 県は検査から除菌治療費まで全て助成する。陽性者には、直接、本人宛に通知がある。

問 今年度から、町の特健診でも始まったが、申込者数と、今後の周知は。

答 490人の申込がある。広報きやまや総合健診事前調査などで案内していく。



▲背丈まで伸びた基山の防火帯付近

問 木造建築物の耐震改修補助事業の実施は 答 診断申請を受け付け改修補助を検討する



木村 照夫 議員

問 町内の昭和56年（1981年）5月31日以前
の木造建築物の旧耐震基準住宅戸数は。

答 平成23年度の調査では1730戸である。

問 現在も耐震診断補助事業は実施しているか。

答 平成28年9月から取り組んでいる。

問 耐震診断を実施した戸数は。

答 平成28年度1件、平成29年度は5月末で2件である。

問 町は耐震診断の結果に対して改修補助事業を実施するのか。

答 耐震診断を受けた方へアンケート調査を実施

し、改修補助事業への取組を検討したいと考えている。今後も耐震診断の申請を継続して受付ながら、改修補助の導入を検討する。

**「部活動指導員制度」の
制度化について**

問 教員で「過労死ライン」とされる月80時間超の時間外労働をしている人はいるのか。

答 平成28年度の時間外労働を平均で見ると、基

山小学校、若基小学校においては、月80時間超の時間外労働をしている教員はいない。基山中学校においては17名の教員が月80時間超であった。

問 外部人材による部活動指導者の現状は。

答 基山中学校において外部指導者は柔道、卓球、剣道部で顧問教師以外に指導を受けている。

問 この制度活用のメリット、デメリットは何

答 外部指導者活用により、顧問教師がその競技に精通しない場合、専門的な技術指導が受けられ、その分教師の負担が軽減される。また、外部指導者のみで指導した場合、教員に時間的余裕が生まれる。デメリットとしては、学校教育に十分な理解を持ち、専門的な知識技能を有する指導者の確保が難しい問題がある。



▲熊本地震で倒壊した木造建築物

問 目標人口への住宅供給の構想は 答 住宅供給の前に土地政策がカギ



久保山義明 議員

問 限られた都市計画区域の中で、目標人口にどのような住宅供給のイメージをもっているか。

答 住宅供給の話の前に市街化区域の線引きを始め、都市計画等の土地政策があってからの住宅供給の話になると思う。

問 都市計画の特例でもある50戸連たん事業についての進捗状況は。

答 市街化調整区域内の農地で白地であり、各種要件をクリアした地区を調査していきたいが、点在する農業振興区域（青地）の問題もある。

問 守るべき農振区域の問題は大前提としながら、ほ場整備や暗渠排水

良好な空き家は、「すまいるナビ」への登録を推進する。

問 有害鳥獣駆除の委託期間の見直しを

答 現在の報奨金制度や委託期間等が複雑であるが、一年間を通しての委託契約ができないか。

答 現在は、水稲の時期を中心に委託を行っているが、広域の協議会への提案を検討する。

問 現在は、猟友会への委託のみとなっているが、今後は登録制の2人以上のチームへの委託も考えられないか。

答 現在のところ考えていないが、研究する。

問 空き家の調査結果についての説明を。

答 町内に151件存在する。倒壊の恐れが5件。環境悪化が著しい空き家が41件。A判定の良好な空き家が66件存在する。危険な空き家は関係各課と連携し取り組む。



▲優良な農地を守り、土地政策を

問 健康長寿命化をどう考える

答 「身体の健康」と「心の健康」が大切だ



葉野 久明 議員

高齢者の健康長寿命化の取組について

問 体力維持・向上を促す施策は。

答 歩いて通える「通いの場」で100歳体操を全区に普及したい。

問 高齢者のスポーツ振興についての考えは。

答 地域で親しみやすく活動できるスポーツの振興は重要であるため進めていきたい。

問 総合公園の健康遊具施設の利用普及をどう考える。

答 利用効果など調査し、普及活動の手法について検討していく。

問 特定健診の受診率の向上を図る施策は。

町民のスポーツ振興について

問 区対抗スポーツ大会、町民体育大会の今後

答 今後とも充実した大会として継続実施する。

問 現行で問題点があれば改善点は。

答 出場選手の確保に苦慮している区もある。それを解消する策として、今年度の区対抗スポーツ大会から、町外に転出した人をふるさと選手として人数制限をかけ参加できる制度を試行した。

問 町民体育大会は、高齢者も参加できる競技種目を研究すべきだがその考えは。

答 その点は研究の必要もあり、関係者と協議しながら進めたい。



▲総合体育館で卓球を楽しむ様子

問 健康ポイントの利用改善を

答 もっと増やしていきたい



大山 勝代 議員

問 健康ポイント対象事業は何があるか。

答 ①町の介護予防事業 ②町の健康増進事業 ③町の健康ポイントを付与する。

問 4月から実施の健康ポイント事業とはどうい

うものか。

答 町が行う健康増進のための事業に参加すれば、1回5ポイントで1個のスタンプを押し、20個のスタンプできのくにカード100ポイントと交換できる。

問 きのくにカードは500ポイントで500円として利用できる。健康ポイントは110個のスタンプが必要になる。1回5ポイントでは

少ないか。参加1回のポイントをもっと増やしてほしいかどうか。

答 いつまでも自力で生活したいと思う高齢者の動機付けなので、もっとポイントを増やしていきたい。

問 町の事業以外

▲健康増進をめざしましょう

の自主サークルや総合体育館でのスポーツ教室などへの参加も、申請すれば利用できるようにしてほしい。

問 「通いの場」の充実、拡大の見通しはどうか。

答 今、老人憩いの家、風のふく丘三ヶ敷、10区で行っている。さらに今年3ヵ所程度増やしたい。活動の中心である「介護予防サポーター」を養成し、増員したい。

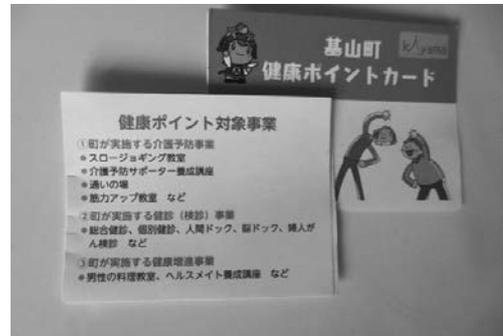
問 エアコン設置に伴う夏休み短縮は

答 児童生徒の意向と健康面をどう考えるか。

問 児童生徒の意向は特に確認していない。エアコンが付けば、熱中症等の危険性も減ると思われる。

問 せめて給食なしの午前中授業にならないか。

答 5日間の給食費を追徴収したい。



問 坂道に配慮したルート見直しは
答 時期を含めする必要ありと考える



牧園 綾子 議員

コミュニティバスの更なる利用について

問 運賃収入増に向けて現在の路線、ダイヤの見直しをどう進めているのか。

答 バス利用把握調査による利用者の意見も参考に検討していく。

問 地域公共交通活性化協議会開催が2回と減ったが、マネジメントのプロセスは十分か。

答 計画に基づく利用実態の把握や今後の課題等について協議しており、十分と考える。

問 免許証を自主返納した高齢者に対して、タクシーやバスの利用の補助など検討しているのか。

答 町内の自主返納されている方を対象に、コミュニティバスの割引きつぷ等の検討を始めたところである。



▲JRけやき台駅バス停

トラブルが起きた時の町の情報管理は

問 基幹系システム事業で、トラブルが起きた時の対応マニュアルの説明を。

答 町又はクラウドサービスセンターで障害が検知された場合、総務企画課広報・情報管理係へ連絡し、役場原課、役場電算担当と鳥栖クラウドセ

ンターにて障害対応を行う。障害対応に時間が要すると思われる場合は、リカバリダウンロードシステムにより窓口業務に支障をきたさないよう運用する。

問 基幹系システム事業は、情報保護のためバックアップも含めた対応を行っていると思うが、どういうトラブルを想定しているのか。

答 想定されるトラブルとして、ハードウェア障害、ネットワーク障害、サイバー攻撃、災害等。

問 県と協力して行う自治体情報セキュリティクラウド事業は、トラブル発生時、解決までどういう経路で進めるのか。

答 外部のセキュリティオペレーションセンターに委託を行い、24時間体制でネットワーク回線の監視をしている。そこで不正にデータ取得等が検知された時、危険度の判定をし、緊急時には送信元の遮断を行う。重要時には、参加団体へ確認後、動作設定を行う。

問 「老人憩の家」改修工事で町民の意見は
答 早い時期に意見交換会をしたい



重松 一徳 議員

町民参加のまちづくりについて

問 老人憩の家改修工事に町民参加の方法は。

答 3月に利用者を対象にアンケート調査を実施した。町民の意見を反映させるために早い時期に意見交換会を行いたい。

問 アンケート調査をした場合、一カ月以内に取りまとめて公表しなければならぬとまちづくり基本条例施行規則で決められているが、公表しているのか。

答 していない。早急に行いたい。

問 町立保育所の建替えについて、町民参加の方

法と今後のスケジュールはどうなっているのか。

答 庁舎内検討委員会で作成した「基山町立保育所建設等について」の報告書を基山町子ども・子育て会議に諮問した。今後は並行して、町民意見交換会、保護者意見交換会を行い、基本構想に反映させてパブリックコメントを行っていききたい。

問 公募型の「町立保育所等建設検討委員会」を設立できないか。

答 子ども・子育て会議に公募しての委員もおり、別の委員会は設けられない。しかし、町民の意見は聞いてい

きたい。

問 まちづくり推進審議会で「まちづくり基本条例の町民参加の手続きを踏んでいないのでは。」と指摘されていたが、どのように取扱うのか。

答 まちづくり課が各課と採用5年以内の職員に「まちづくり基本条例」の研修を行う。
 その他の質問
 ○児童虐待防止について
 ○教職員の勤務状況と教育行政について



▲改修工事を計画している「老人憩の家」

新議長あいさつ



基山町議会 議長
品川 義 則

「開かれた議会・行動する議会」をめざして

このたび4月24日の臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、基山町議会議長に就任致しました。

議会とは、町民の代表として町民の意見を代弁するものであり、町の最高決定機関でもあります。そのためには町民のみならず付託された責任を重く受け止め、社会福祉の向上に努め、基山町の発展に寄与しなければなりませんと考えます。今、基山町議会は議会基本条例を策定中ですが、これは町民との約束ごとを決める意義深い、大変重要なことであります。また、基山町議会は二元代表制を標榜し、町長が諮問機関へ参画をしていないことは、町議会の独自性・独立性を保つためにも必要なことです。

しかしながら、現状では議会として町民、各団体の意見を十分に把握出来ていないと思えません。議会は、公的団体、民間団体を問わず広く町民の意見を積極的に求める姿勢こそ重要だと考えます。

さらに、これからは政策提案をする議会が求められています。議員個々の資質を高め、議員間の討議を徹底的に行い、政策の提言を行うことが出来る議会をめざすべきだと考えます。

このようなことを踏まえて、これからの議会は、行動する議会を目標にさらなる議会改革を進めていけば、町民のみならずまの付託に応えうる議会となるものと私は確信しております。

最後に、町民のみならずにおかれましては、今後とも基山町議会に対して、ご指導ご支援いただきますようよろしくお願い致します。

議長交際費の公表 (平成29年4月～6月)

支出種別	支出金額(円)	支出の相手方及び行事名等	
御 祝	5,000	4/14	大興善寺つつじ園開園式
接 遇	3,000	5/16～17	長崎県対馬市賀島恕軒先生没後320年供養祭
御 祝	4,294	5/26	モール商店街協同組合第37回通常総会
合計件数(件)	合計額(円)	累計件数(件)	累計額(円)
3	12,294	3	12,294

平成29年 第3回基山町議会定例会 会期日程(案)

月	日	曜	議事内容	備 考
9	5	火	本会議	会期決定・提案理由説明等・決算特別委員会設置
	6	水	本会議	一般質問
	7	木	本会議	一般質問
	8	金	本会議	一般質問・議案審議・委員会付託
	9	土	休会	
	10	日	休会	
	11	月	委員会	総務文教常任委員会
	12	火	委員会	厚生産業常任委員会
	13	水	委員会	各常任委員会 (調整)
	14	木	本会議 委員会	(午前9時30分)委員長報告・討論採決 (本会議終了後)決算特別委員会
	15	金	委員会	決算特別委員会
	16	土	休会	
	17	日	休会	
	18	月	休会	
19	火	委員会	決算特別委員会	
20	水	委員会	決算特別委員会 (調整)	
21	木	本会議	委員長報告・討論採決	

基山町議会 委員会の新構成

◎ 委員長

○ 副委員長

議長：品川 義則 副議長：河野 保久

議会選出監査委員：末次 明

町議会

常任委員会

総務文教常任委員会

◎重松 一徳 松石 信男 鳥飼 勝美
○大久保 由美子 木村 照夫 松石 健児

総務企画課・財政課・税務課・まちづくり課・出納室・教育委員会の所管について審査・調査をする

厚生産業常任委員会

◎久保山 義明 大山 勝代 河野 保久
○栗野 久明 牧園 綾子 末次 明

住民課・健康福祉課・こども課・産業振興課・定住促進課・建設課の所管について審査・調査をする

広報広聴常任委員会

◎牧園 綾子 木村 照夫 栗野 久明
○松石 健児 末次 明 大久保 由美子

議会広報の編集、発行及び議会報告会を開催する

議会運営委員会

◎鳥飼 勝美 重松 一徳 河野 保久
○松石 信男 牧園 綾子 久保山 義明

議会運営について協議する

議会改革特別委員会

◎木村 照夫
○河野 保久 ほか全議員

町民に開かれた議会に改革する

保育所建設等特別委員会

◎松石 健児 重松 一徳 牧園 綾子
○大山 勝代 久保山 義明 大久保 由美子

保育所建設等について審査・調査をする

全員協議会

全議員

議案等の協議及び調整をする



編集に携わり七年目

編集後記

6月議会は、田植えの時期とも重なります。植えたばかりの青々とした苗が、暑い夏を過ぎ、秋には黄金色に実った稲穂に育った様をイメージすると、心が和みます。

議会だよりをもっと身近に感じて読んでいただけるよう、一年以上前に子育て支援について町民の皆さんからいただいたご意見にどう対応できたのか、調査した内容を特集ページにしました。

(牧園)



田植えが始まった町内の田んぼ

広報広聴常任委員会

委員長	牧園 綾子	委員長	栗野 久明
副委員長	松石 健児	委員	末次 明
委員	木村 照夫	委員	大久保由美子